

公益財団活動

取り組みの背景・考え方

Daigasグループの企業ボランティア活動として1981年(国際障害者年)に始まった「小さな灯」運動等で行ってきた福祉活動を、より組織的、継続的に発展させるために、大阪ガスと関係会社、サービスショップ協会、風呂販売協会の362社が基金を拠出し、創業80周年を記念して大阪ガスグループ福祉財団を1985年10月に設立しました。その活動は、高齢者を対象とした地域福祉活動や大学・医療機関で行われている調査・研究に対する「助成事業」と、高齢者の健康の維持・増進を目的とした「健康事業」です。

また、大阪ガス国際交流財団は、1992年9月に大阪ガスが基本財産を全額拠出して設立し、2010年10月に、内閣府の認定を受けて公益財団法人に移行しました。財団の事業活動を通じて天然ガス産出国との相互理解をより一層深め、国際親善に資することを目的に助成事業に取り組んでいます。

高齢者福祉-(公財)大阪ガスグループ福祉財団

1985年にDaigasグループ各社の寄付で設立した(公財)大阪ガスグループ福祉財団は、「高齢者を対象とした福祉活動や調査・研究への助成事業」と「高齢者の健康維持・増進を目指す健康事業」を両輪に、近畿2府4県で活動しています。

2023年度の高齢者福祉助成は61件(690万円)、調査・研究助成は13件(888万円)、健康事業は108回実施し、参加者は4,742人でした。



健康事業：健康のつどい



高齢者福祉助成：農業塾講座のための農具助成

各活動の実績(1985年～2023年度累計)

(1) 高齢者福祉助成	3,106件	6億9,790万円
(2) 調査・研究助成	671件	4億4,888万円
(3) 健康事業	6,210回開催	448,532人参加

「高齢者向けの健康セミナー」をYouTube配信

2021年度ホームページのリニューアルに合わせて、動画コンテンツ「高齢者向けの健康セミナー」を制作、YouTube配信を開始しました。今後も高齢期の健康づくりに活用できる内容を毎年配信していきます。



動画コンテンツ「高齢者向けの健康セミナー」

ステークホルダーコメント

健康づくり活動へのご協力に感謝します

奈良市万年青年クラブ連合会
事務局長 神田 義隆 氏



奈良市では老人クラブを「万年青年クラブ」と呼んでいます。

「万年青年クラブ」は、高齢者の生活を健全で豊かなものにするため、教養の向上・健康の増進・社会奉仕などの活動を行っている会員組織の団体で、おおむね60歳以上の方であればどなたでも近くのクラブに加入できます。

そして、各クラブが集まって「奈良市万年青年クラブ連合会」を組織し、様々な活動を行っています。

2019年度は、大阪ガスグループ福祉財団のご協力を得て「健康づくり料理講習」を開催し、会員同士の交流を深め、健康づくり活動を進めることができました。また2022年度は、感染防止対策として会場を奈良市内4拠点に分散し、出前無料講座「健康のつどい」の「笑い」と健康体操を開催し好評を博しました。引き続き2023年度も4拠点で「健康のつどい」の「流行り歌ビクス」を開催し、多くの会員が積極的に参加しました。

地域高齢者の生活拠点まで直接出向いて実施する「健康のつどい」をはじめとする大阪ガスグループ福祉財団の健康づくり事業は、当クラブの健康づくり活動の推進において過去より大変役立っており、参加した会員(2023年度まで延べ2,500人以上が参加)の評判もよく、大阪ガスグループ福祉財団のこのようなご協力に対し、心より御礼申し上げます。

来年は40周年を迎えられるとのことで、今後ともご支援ご協力を賜りますようお願いするとともに、Daigasグループの皆さまのますますのご発展をお祈り申し上げます。

国際貢献-(公財)大阪ガス国際交流財団

天然ガス産出国との友好と相互理解を深める

(公財)大阪ガス国際交流財団は、南東アジアおよび大洋州地域の天然ガス産出国との国際相互理解の促進と国際親善への寄与を目的として助成事業を展開しています。2023年度、インドネシアでは、小中学校への教育機材助成、285人の学生・生徒への奨学金支給、3大学におけるエネルギー・環境分野の研究への助成、大学院生2人を対象とした日本での短期研修など、計約1,372万円を助成しました。マレーシアでは、英語教育支援、試験研究助成、大学生12人への奨学金支給など、計約755万円を助成し、東ティモールでは、60人の大学生への計約424万円の奨学金を支給しました。設立以来31年間の助成実績は、総額6億1,549万円、奨学生数10,851人、助成対象研究テーマ453件となっています。

2023年度には新たな取り組みとして、インドネシアと関西の学生間オンライン交流会を開催しました。今後も新たな活動、助成領域の拡大に取り組んでいきます。



東ティモール大学での贈呈式
奨学生やその家族との記念撮影

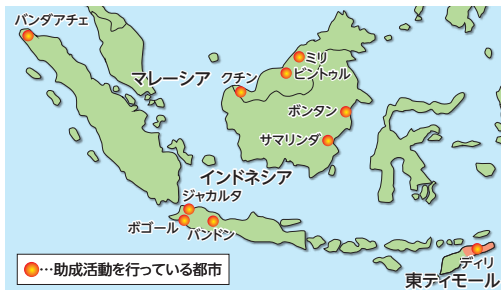


マレーシア サラワク大学への
表敬訪問

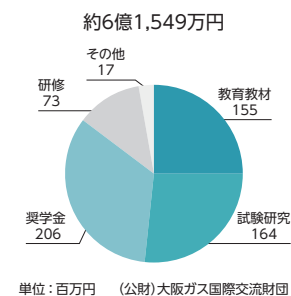


インドネシア シクアラ大学と
関西学院大学とのオンライン交流会

■ 助成活動範囲



■ 累計助成金額 (1992～2023年度)



■ 助成金の推多 (単年度)

(単位:千円)

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
教育機材	1,878	1,873	1,760	1,973	2,115	2,410
試験研究	5,401	5,172	5,049	5,332	6,935	7,176
奨学金	6,558	8,092	7,737	8,512	9,564	12,589
研修	3,212	3,175	371	313	3,281	3,331
合計	17,049	18,311	14,917	16,129	21,895	25,506